

消防かわる版

もういいかい 火を消すまでは まあただよ

田原市消防潜水隊

田原市は西、南、北の三方を海に囲まれ、一年を通して釣りやサーフィンなどのマリンスポーツが盛んで、市内外から多くの方が訪れます。しかし、自然を相手にする難しさから、時には事故が起きてしまうことがあります。



そこで本市では、水辺の事故に備えて消防潜水隊を配備しています。潜水隊員は潜水士の有資格者で、特別な教育訓練を修了した者です。



潜水隊は、ボート、スキューバ器材などを保有し、現場到着までに水難救助車内でダイビングスーツに着替えるなど、迅速に活動できるように工夫しています。

しかし、水難事故は潜水隊だけでは円滑に活動できません。陸上や、ボートからのサポートがとても大切です。このため、年間を通し漁港やプールなどで連携訓練を行っています。また、相互の技術向上や連携を図るため、東三河の消防本部の潜水隊、海上保安庁とも合同訓練を実施しています。

地域の消防防災力強化!



●訓練を受ける消防団員

平成26年3月、総務省消防庁から田原市に消防車両と資機材が無償で貸付されました。

で、小型ポンプを搭載し、狭い道などで機動力を発揮します。資機材は、大型テントや簡易トイレなど活動の拠点となるものや、AED、エンジンカッター、チェーンソーといった人命救助の資機材もそろっています。

貸付された車両と資機材は福江分団に引き渡され、大規模災害時の強い味方になります。



●貸付された消防車両



●貸付された資機材

災害時の強い味方



●専用蛇口からの給水

平成26年2月、消防署に新しい大型水槽車が納入されました。水槽には10トンの水が積載され、火災時には消火用水として、また、災害時には備え付けの専用蛇口を取り付けることで飲料水としても利用が可能です。

アルミ製水槽の採用により軽量化が実現できたことで以前と比べて小排気量となり、さらに、水を送るための小型動力ポンプは、これまでの2サイクルエンジンから4サイクルエンジンに変更し、環境に配慮した車両になっています。